

2017 年第 59 号  
(2017. 4. 6)

## 2017年ゴールデンウィーク(4/25~5/5)の旅行動向

海外旅行人数は過去最高に迫る 59.5 万人(前年比+1.2%)  
国内旅行は昨年より「帰省」が増加  
長い休みを利用して遠距離の旅行も人気

← (調査対象期間) →

4 月

5 月

22 日	23 日	24 日	25 日	26 日	27 日	28 日	29 日	30 日	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日
土	日	月	火	水	木	金	祝	日	月	火	祝	祝	祝	土	日

JTB は、「ゴールデンウィーク (以下 GW) <4 月 25 日~5 月 5 日の 11 日間 (出発日基準)> に、1 泊以上の旅行に出かける人」の旅行動向の見通しをまとめました。

この調査は、1,200 人から回答を得た旅行動向アンケート、JTB グループの販売状況、航空会社の予約状況、業界動向などから推計したもので、1969 年に調査を開始して以来、今年で 49 回目となります。調査結果は以下の通りです。

(表1) 2017年 GW の旅行人数、旅行平均費用、旅行消費額

	2017 年 GW		2016 年 GW	
	推計値	対前年比	実績推計値	対前年比
総旅行人数	2,360 万人	▲1.7%	2,400 万人	+0.5%
国内旅行人数	2,300 万人	▲1.8%	2,341 万人	+0.2%
海外旅行人数	59.5 万人	+1.2%	58.8 万人	+10.7%
国内旅行平均費用	35,200 円	±0.0%	35,200 円	▲1.7%
海外旅行平均費用	257,000 円	▲0.8%	259,000 円	▲1.5%
総旅行消費額	9,625 億円	▲1.4%	9,763 億円	+0.8%
国内旅行消費額	8,096 億円	▲1.7%	8,240 億円	▲1.5%
海外旅行消費額	1,529 億円	+0.4%	1,523 億円	+15.4%

- \* 旅行人数は延べ人数、平均費用は一人 1 回あたりの費用
- \* 国内旅行平均費用は、交通費・宿泊費・土産代・食費等の旅行中の諸費用を含む
- \* 海外旅行平均費用は、燃油サーチャージ・旅行先での交通費・宿泊費・食費を含む
- \* 対前年比は小数点第二位以下を四捨五入

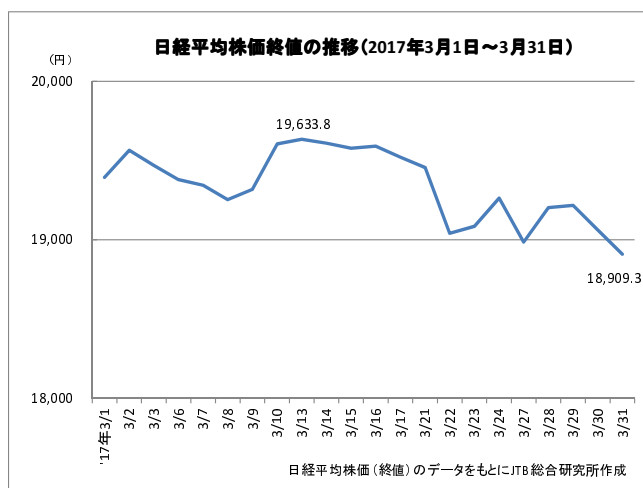
## ＜社会経済環境＞

### 1. 社会経済環境と旅行消費の基調

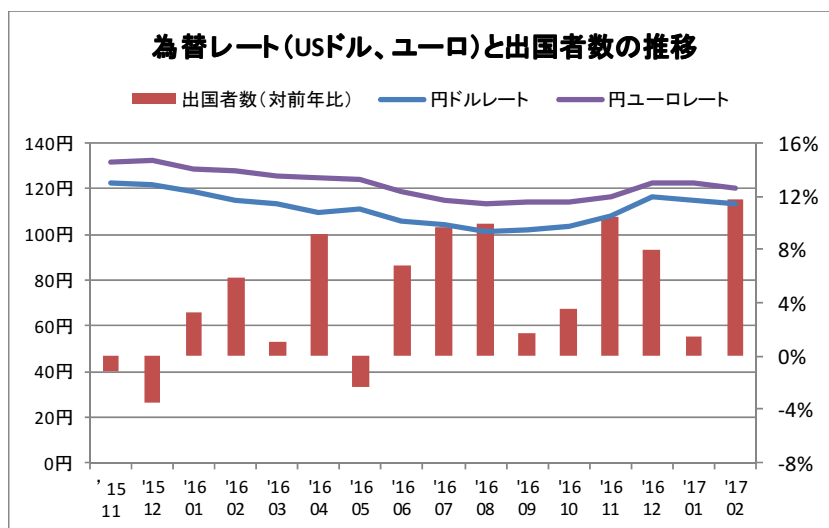
このところの日本経済を見ると、この1ヵ月間の株価はほぼ19,000円を超えて推移しており、3月の月例経済報告は、新車販売台数の持ち直しや外食の増加から、個人消費の基調判断を「総じてみれば持ち直しの動きが続いている」と2月の「足踏みがみられる」から上方修正されました。一方、企業の決算は好調ではあるものの、春季労使交渉後の賃上げ率は2年連続で伸びが鈍化するなど個人の収入増への影響が少ないことや、海外経済の不確実性から、先行きの不透明感は続いています。1月の家計調査報告の消費支出は前年同月比▲1.2%、2月は同▲3.8%で、家計は節約する方向であるとみられます。為替は、ゆるやかに変動していますが、日本人の出国者数の対前年比は2016年6月以来9カ月連続で増加しています（図1、図2）。

旅行動向アンケートで「今後の旅行支出に対する意向」を聞いたところ、「支出をふやしたい（14.8%）」が前年より0.2ポイント減少し、「支出を減らしたい（26.5%）」も0.6ポイント減少しました。「単価も回数も同程度（42.3%）」は、42.3%で前年より3.4ポイント増加しています。旅行の支出に関しては、現状維持の気持ちが強いとみられます（表2）。

（図1）日経平均株価終値の推移



（図2）為替レート(対 USドル、対ユーロ)と出国者数の推移



**(表2) 旅行支出に対する意向の変化 (調査月ベース)**

(単一回答) ( )は前年差

	今回(2017年3月)	前回(2016年3月)	前々回(2015年3月)
支出をふやしたい	14.8 (▲0.2)	15.0 (▲1.7)	16.7 (+5.6)
支出は同程度	55.6 (▲0.2)	55.8 (+1.6)	54.2 (▲3.3)
単価減らし回数増やす	8.2 (▲1.6)	9.8 (+0.7)	9.1 (▲0.9)
単価増やし回数減らす	5.1 (▲2.0)	7.1 (▲0.9)	8.0 (+0.1)
単価も回数も同程度	42.3 (+3.4)	38.9 (+1.8)	37.1 (▲2.5)
支出を減らしたい	26.5 (▲0.6)	27.1 (+0.9)	26.2 (▲3.1)

**2. GWの旅行を取り巻く環境と生活者の旅行意向**

今年のGWの日並びは、前半の4月29日(祝)が土曜日で通常の週末と変わりませんが、5月3日(祝)～7日(日)は、祝日と土日で5連休になり、5月1日(月)、2日(火)を休めば9連休となります。

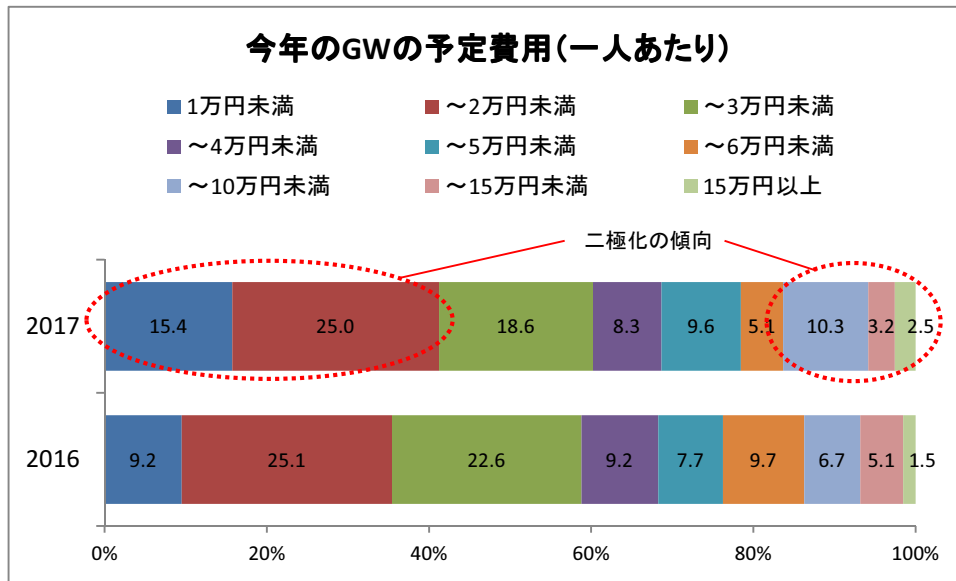
旅行動向アンケートでは、GWに旅行に行く人は、昨年よりやや減少しています。旅行に行く人に「今年のGWについてあてはまるもの」を聞いたところ、「特に違いはない」が33.3%でした。休みに関しては、「昨年より休みが取れそうにない(13.5%)」が「昨年より長く休みが取れそうだ(10.9%)」より多くなりました。旅行に関しては、「昨年より近距離の旅行に行く(8.3%)」が「昨年より遠距離の旅行に行く(7.1%)」より多くなり、日数については「同じ日数の旅行に行く(16.0%)」が最多でした。収入に関しては、「昨年より収入が減った(14.1%)」が「昨年より収入が増えた(8.3%)」より多くなりました。今年2月から実施となったプレミアムフライデーは4月28日で29日(祝)の前日になりますが、GWとつなげて考える人は少ないようです(表3)。一人あたりの旅行予定費用については、2万円未満が昨年より増加した一方で、6万円以上の割合も高まり、15万円以上も1%ながら増加していたことから、今年のGWは、お金をかけずに旅行する派と、せっかくのGWなので相応に支出をして旅行を楽しむ派の二極化の傾向が見られます(図3)。

**(表3) 昨年と今年のGWの違い(複数回答)\* 新設問のため前年比はありません**

	%
昨年より休みが取れそうにない	13.5
昨年より長く休みが取れそうだ	10.9
昨年より遠距離の旅行に行く	7.1
昨年より近距離の旅行に行く	8.3
昨年と同じ日数の旅行に行く	16.0
昨年より旅行日数を増やす	6.4
昨年より旅行日数を減らす	5.1
昨年より収入が減った	14.1
昨年より収入が増えた	8.3
4月28日のプレミアムフライデーを利用して1日長く休む	0.6
4月28日はGW前なので休めない	1.9
4月28日のプレミアムフライデーはGWとは無関係	10.3
特に違いはない	33.3

(図3)今年のGWの予定費用(一人あたり)

(単一回答)



## <2017年GW旅行動向予測>

### 1. 海外旅行人数は、59.5万人(前年比+1.2%)、一人あたりの平均費用は、257,000円(前年比▲0.8%) 出発日のピークは、5月3日(祝)、遠距離方面は4月29日(祝)、30日(日)

2016年のGW期間の海外旅行人数の実績推計は、前年に対し10.7%増加しました。2017年に入ってからの上乗せ者数は、1月は130万人(前年同月比+1.5%)、2月は149万人(同+11.8%)で、2016年6月から9カ月連続で前年を上回っています。今年のGWは休みも長く、為替相場は昨年のGW時期に比べて円高傾向です。昨年は0円だった燃油サーチャージが2月から復活していますが、以前の金額と比較するとそれほど大きくありません(表4、表5)。昨年より日並びがよいこともあり、海外旅行に出かけやすい状況にあり、旅行人数は増加することが見込まれます。一方で、消費のマインドとしては節約傾向が強まっていること、LCCを利用した安価な旅行も定着し、アジアを中心とした近距離の旅行が増えると考えられ、旅行平均費用は、257,000円(前年比▲0.8%)と予測します。

(表4) 為替相場(東京外国為替相場/T.T.S三菱東京UFJ銀行調べ) (単位:円)

基準日	1米ドル	1ユーロ	1英国ポンド	100韓国ウォン	1台湾ドル
2017年3月31日	113.19	121.29	144.08	10.24	3.70
2016年3月31日	113.68	129.20	165.92	10.06	3.49
2015年3月30日	120.26	131.18	181.39	11.02	3.81
2014年3月28日	103.06	141.76	173.59	9.77	3.01
2013年3月26日	95.05	122.42	146.68	8.7	3.13
2012年3月30日	83.19	111.3	135.34	7.45	2.79

※東京外国為替相場/T.T.S三菱東京UFJ銀行調べ

(表5) 日本航空日本発方面別燃油サーチャージ(片道)

(単位:円)

	2017年 4月	前年との差額	(参考)			
			2016年 4月	2015年 4月	2014年 4月	2013年 4月
韓国	300	+ 300	0	500	2,500	2,200
中国	1,500	+ 1,500	0	2,500	7,000	6,000
香港・台湾	1,500	+ 1,500	0	2,500	7,000	6,000
グアム、フィリピン・ベトナム	2,000	+ 2,000	0	3,000	7,000	7,000
タイ・マレーシア・シンガポール	3,000	+ 3,000	0	4,500	13,000	11,500
ハワイ・インドネシア・インド	4,000	+ 4,000	0	6,000	16,000	15,000
オセアニア・北米・ヨーロッパ	7,000	+ 7,000	0	10,500	25,000	23,500

出典:JALプレスリリース

JTBの海外パッケージツアー「ルック JTB」の予約状況をみると、出発日のピークは、近距離のアジアを中心に5月3日(祝)となり、米国本土や欧州などの遠距離は4月29日(祝)、30日(日)がピークになっています。人気の行き先は、昨年12月に羽田ーハワイ島・コナの直行便が就航したハワイ、近距離では台湾・シンガポールなどのアジアやグアム、遠距離では建国150周年記念のカナダや、北欧・スペイン・ポルトガルなどです。

ヨーロッパ方面は、今年に入ってから航空会社の旅客輸送実績も前年を超えており、一時の低迷から復調してきていると言えるでしょう。

## 2. 国内旅行人数は2,300万人(前年比▲1.8%)国内旅行平均費用は35,200円(前年比±0.0%)

### 出発日のピークは5月3日(祝)。旅行の目的は「帰省、離れて暮らす家族と過ごす」が増える

日本人の国内旅行者数について、観光庁の宿泊旅行統計調査をみると、2016年12月の日本人の延べ宿泊者数は3,375万人泊(前年同月比▲1.8%)、2017年1月は2,990万人泊(同▲0.5%)、2月は3,002万人泊(同▲2.2%)でした。また、総務省の家計調査報告における宿泊料の項目も、12月は前年同月比▲10.4%、1月は同▲6.2%、2月は同+0.4%でした。両指標からは積極的なプラス方向への動きがみられないため、支出に慎重である様子が見えられます。

旅行動向アンケートによると、「旅行の目的」は「帰省、離れて暮らす家族と過ごす(27.6%)」が最多で、前年から13.7ポイントと大きく増加しています。「家族と楽しく過ごす(12.2%)」も2.4ポイント増加しています。「利用宿泊施設」については、「ホテル(42.6%)」が最多で前年より2.6ポイント増加したものの、「実家・知人宅(34.5%)」は、前年より+7.3ポイントとさらに増加しています。今年は昨年より帰省が増えそうです。「旅行日数」については、「1泊2日(45.3%)」が最多ですが、前年からは1.4ポイント減少、「2泊3日(29.1%)」は前年から2.2ポイント減少しています。一方、「3泊4日(12.8%)」は前年より1.0ポイント増加、「4泊5日(5.4%)」は2.8ポイント増加しています。日並びがよく、長い旅行に行こうとしている人もいることがわかります。また、「利用交通機関」については、「乗用車(71.6%)」が0.3ポイント増加しており、子供連れの家族旅行が多いことがわかります。また「鉄道(22.3%)」も4.4ポイント増加しており、引き続き高い人気の観光列車を利用して「移動自体を楽しむ」旅行も多そうです。(表7、表8、表9、表11、表12)。

JTBの国内パッケージツアー「エース JTB」の予約状況をみると、出発日は、5月3日(祝)が多く、行き先は、北海道や沖縄などの遠距離が人気です。開業から1年の北海道新幹線の乗客数は当初の予想を上回っておりGW期間も人気は続きそうです。

4月1日に名古屋でオープンした『LEGOLAND® Japan』(レゴランド®ジャパン)関連の商品については、首都圏を中心に全国からの予約が増えています。

国内旅行については、全体では節約傾向で、帰省が増えますが、長い休みを利用して遠距離の旅行に行く人も増えるとみられることから、国内旅行平均費用は昨年並みの 35,200 円（前年比±0.0%）と予測します。

<旅行動向アンケート調査方法>

調査地点： 全国 200 地点  
調査実施期間： 2017 年 3 月 3 日～15 日  
調査対象： 全国 15 歳以上 79 歳までの男女個人  
サンプル数： 1,200 名  
調査内容： 2017 年 4 月 25 日から 5 月 5 日に実施する 1 泊以上の旅行  
（海外旅行を含み、商用、業務等の出張旅行は除く）  
調査方法： 調査員による質問用紙を使った個別訪問調査

<報道関係の方からのお問い合わせ先>  
JTB 広報室 03-5796-5833

(表6) 2017年GW(4/25~5/5 発)の海外旅行人数推計

(単位:千人)

	2017年推計	対前年比	2016年実績推計
<b>総数</b>	<b>595</b>	+1.2%	<b>588</b>
<b>アジア合計</b>	<b>371</b>	<b>▲0.3%</b>	<b>372</b>
韓国	96	▲4.0%	100
中国	85	▲2.3%	87
香港	25	+4.2%	24
台湾	51	+2.0%	50
タイ	40	+2.6%	39
シンガポール	16	±0.0%	16
インドネシア	15	±0.0%	15
マレーシア	11	±0.0%	11
その他	32	+6.7%	30
<b>北米州合計</b>	<b>146</b>	+3.5%	<b>141</b>
ハワイ	61	+3.4%	59
グアム・サイパン	27	+3.8%	26
米国本土	49	+2.1%	48
カナダ	9	+12.5%	8
<b>欧州合計</b>	<b>45</b>	±0.0%	<b>45</b>
<b>大洋州合計</b>	<b>22</b>	+15.8%	<b>19</b>
オーストラリア	14	+7.7%	13
ニュージーランド	5	+25.0%	4
南太平洋	3	+50.0%	2
<b>その他</b> (アフリカ・中近東・中南米)	<b>11</b>	±0.0%	<b>11</b>

**(表7)利用宿泊施設(海外旅行を除く)**

(複数回答)

	%	対前年
旅館	24.3	▲ 0.3
ホテル	42.6	+ 2.6
実家・知人宅	34.5	+ 7.3
民宿・ペンション	6.1	▲ 3.6
その他	2.7	+ 0.1

**(表8)利用交通機関**

(複数回答)

	%	対前年
乗用車	71.6	+ 0.3
鉄道	22.3	+ 4.4
JR新幹線	14.9	+ 0.5
JR在来線・私鉄	13.5	+ 7.3
長距離バス	4.7	▲ 1.4
航空機	11.5	▲ 0.8
従来の航空会社	11.5	▲ 0.3
LCC	0.0	▲ 1.0
フェリー・船舶	1.4	▲ 0.1

**(表9)同行者**

(単一回答)

	%	対前年
家族連れ	71.2	+ 2.0
子供連れ(中学生まで)	35.3	+ 5.0
夫婦のみ	19.2	▲ 1.3
その他(三世代・母娘を含む)	16.7	▲ 1.8
友人・知人	16.0	▲ 1.9
恋人・パートナーと2人で	4.5	+ 0.4
友人と2~3人で	11.5	▲ 2.3
グループ・団体	3.2	▲ 0.4
ひとり	7.7	+ 2.6

**(表10)旅行先(海外旅行を除く)**

(単一回答)

	%	対前年
北海道	7.4	+ 1.5
東北	13.5	+ 2.2
関東	17.6	▲ 7.7
甲信越	9.5	▲ 0.7
東海	12.2	+ 2.5
北陸	5.4	+ 2.2
近畿	12.2	▲ 3.4
中国・四国	8.8	+ 1.8
九州	9.5	+ 1.4
沖縄	4.1	+ 0.3



**(表11)旅行目的(上位10位)**

	(単一回答)	
	%	対前年
① 帰省、離れて暮らす家族と過ごす	27.6	+ 13.8
② 家族と楽しく過ごす	12.2	+ 2.5
③ 温泉を楽しむ	11.5	+ 1.8
④ テーマパークやレジャー施設	9.6	▲ 2.2
⑤ 自然や風景を楽しむ	9.0	▲ 7.4
⑥ リラックスする、のんびりする	9.0	▲ 1.3
⑦ 食事を楽しむ、地域の味覚を味わう	5.1	±0.0
⑧ 名所や史跡などを見る	3.8	▲ 2.4
⑨ 恋人・友人と楽しく過ごす	3.8	▲ 2.4
⑩ 趣味を楽しむ・極める	3.2	+ 1.2

**(表12)旅行日数(海外旅行を除く)**

	(単一回答)	
	%	対前年
1泊2日	45.3	▲1.4
2泊3日	29.1	▲2.2
3泊4日	12.8	+ 1.0
4泊5日	5.4	+ 2.8
5泊6日	2.7	▲0.4
6泊7日	0.0	▲1.0
7泊8日	0.7	+ 0.2
8泊以上	2.0	+ 1.5

**(表13)旅行に行かない理由**

	(複数回答)	
	%	対前年
① GWは混雑する	51.8	+ 15.9
② 家でゆっくりしたい	18.7	▲ 6.7
③ 他の時期に旅行に出かける	13.2	▲ 4.4
④ GWは旅行費用が高い	10.0	▲ 10.5
⑤ 仕事などで休暇がとれない	9.6	▲ 9.6
⑥ 日曜・祝日が休みでない仕事なので	9.1	▲ 4.7
⑦ 家族・友人等と休日が合わない	6.8	▲ 5.8
⑧ なんとなく行く気にならないから	6.0	▲ 6.5
⑨ 旅行以外にやりたいことがある	4.7	▲ 5.4
⑩ 景気が悪いので支出を控える	4.6	▲ 7.2
⑪ 家庭の事情で家を離れられない	4.6	▲ 7.6
⑫ 特に旅行したい場所がない	4.4	▲ 0.8
⑬ 訪日外国人増え国内宿泊施設予約困難	3.7	+ 1.2
⑭ 訪日外国人増え国内観光地が混雑する	0.9	▲ 1.4

**(表14)旅行支出に対する意向の変化(調査月ベース)(表を再掲)**

(単一回答) ( )は前年差

	今回(2017年3月)	前回(2016年3月)	前々回(2015年3月)
支出をふやしたい	14.8 (▲0.2)	15.0 (▲1.7)	16.7 (+5.6)
支出は同程度	55.6 (▲0.2)	55.8 (+1.6)	54.2 (▲3.3)
単価減らし回数増やす	8.2 (▲1.6)	9.8 (+0.7)	9.1 (▲0.9)
単価増やし回数減らす	5.1 (▲2.0)	7.1 (▲0.9)	8.0 (+0.1)
単価も回数も同程度	42.3 (+3.4)	38.9 (+1.8)	37.1 (▲2.5)
支出を減らしたい	26.5 (▲0.6)	27.1 (+0.9)	26.2 (▲3.1)

\* (表2)(表9~12)(表14)は無回答があるため合計100%にはなりません。

(表15) 「ゴールデンウィークの旅行動向」推計数値(2001年～)の推移

	旅行人数(万人)			旅行平均費用(円)		総消費額(億円)		
	総数	国内旅行	海外旅行	国内旅行	海外旅行	総数	国内	海外
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2000年 (4/27～5/7)	2,150.4	2,094.0	56.4	40,433	228,558	9,756	8,467	1,289
	+4.2%	+4.1%	+6.0%	▲0.5%	+7.1%	+4.8%	+3.6%	+13.6%
2001年 (4/26～5/6)	2,206.5	2,152.6	53.9	41,767	239,072	10,280	8,991	1,289
	+2.6%	+2.8%	▲4.4%	+3.3%	+4.6%	+5.4%	+6.2%	±0.0%
2002年 (4/25～5/5)	2,169.3	2,120.3	49.0	39,595	246,005	9,600	8,395	1,205
	▲1.7%	▲1.5%	▲9.1%	▲5.2%	+2.9%	▲6.6%	▲6.6%	▲6.5%
2003年 (4/24～5/4)	2,090.7	2,067.3	23.4	38,983	254,369	8,654	8,059	595
	▲3.6%	▲2.5%	▲52.2%	▲1.5%	+3.4%	▲9.9%	▲4.0%	▲50.6%
2004年 (4/24～5/4)	2,169.8	2,116.9	52.9	39,334	245,720	9,627	8,327	1,300
	+3.8%	+2.4%	+126.1%	+0.9%	▲3.4%	+11.2%	+3.3%	+118.5%
2005年 (4/27～5/7)	2,175.5	2,121.1	54.4	38,890	253,180	9,626	8,249	1,377
	+0.3%	+0.2%	+2.8%	▲1.1%	+3.0%	±0.0%	▲0.9%	+5.9%
2006年 (4/26～5/6)	2,201.6	2,146.6	55.0	38,993	250,584	9,748	8,370	1,378
	+1.2%	+1.2%	+1.1%	+0.3%	▲1.0%	+1.3%	+1.5%	+0.1%
2007年 (4/25～5/5)	2,202.3	2,148.7	53.6	39,100	251,700	9,750	8,401	1,349
	±0.0%	+0.1%	▲2.5%	+0.3%	+0.4%	±0.0%	+0.4%	▲2.1%
2008年 (4/25～5/5)	2,125.4	2,080.0	45.4	39,100	254,700	9,289	8,133	1,156
	▲3.5%	▲3.2%	▲15.3%	±0.0%	+1.2%	▲4.7%	▲3.2%	▲14.3%
2009年 (4/25～5/5)	2,178.6	2,129.9	48.7	36,900	213,100	8,897	7,859	1,038
	+2.5%	+2.4%	+7.3%	▲5.6%	▲16.3%	▲4.2%	▲3.4%	▲10.2%
2010年 (4/24～5/4)	2,220.9	2,169.2	51.7	36,100	224,400	8,991	7,831	1,160
	+1.9%	+1.8%	+6.2%	▲2.2%	+5.3%	+1.1%	▲0.4%	+11.8%
2011年 (4/24～5/4)	2,035.0	1,981.3	53.7	33,800	209,600	7,823	6,697	1,126
	▲8.4%	▲8.7%	+3.9%	▲6.4%	▲6.6%	▲13.0%	▲14.5%	▲2.9%
2012年 (4/25～5/5)	2,260.8	2,201.2	59.6	34,900	210,000	8,934	7,682	1,252
	+11.1%	+11.1%	+11.0%	+3.3%	+0.2%	+14.2%	+14.7%	+11.2%
2013年 (4/25～5/5)	2,331.7	2,278.2	53.5	35,900	230,800	9,414	8,179	1,235
	+3.1%	+3.5%	▲10.2%	+2.9%	+9.9%	+5.4%	+6.5%	▲1.4%
2014年 (4/25～5/5)	2,318.3	2,267.9	50.4	34,400	249,500	9,060	7,802	1,258
	▲0.6%	▲0.5%	▲5.8%	▲4.2%	+8.1%	▲3.8%	▲4.6%	+1.9%
2015年 (4/25～5/5)	2,389.0	2,335.9	53.1	35,800	263,000	9,683	8,363	1,320
	+3.0%	+3.0%	+5.4%	+4.1%	+5.4%	+6.9%	+7.2%	+4.9%
2016年 (4/25～5/5)	2,400.0	2,341.0	58.8	35,200	259,000	9,763	8,240	1,523
	+0.5%	+0.2%	+10.7%	▲1.7%	▲1.5%	+0.8%	▲1.5%	+15.4%
2017年 (4/25～5/5)	2,360.0	2,300.0	59.5	35,200	257,000	9,625	8,096	1,529
	▲1.7%	▲1.8%	+1.2%	±0.0%	▲0.8%	▲1.4%	▲1.7%	+0.4%

\* 調査開始は1969年。海外旅行人数は実績値。

\* 平均費用については、1993年より推計。2003年以前は動向結果により前年の発表数値から一部修正。

\* 国内旅行人数は推計値で、2003年以前は動向結果により前年の発表数値から一部修正。